

バイオマス利活用施設の概要

作成日：平成 19 年 8 月 31 日

作成者：(財)日本システム開発研究所

		<p>【施設名称】 B D F 製造施設</p> <p>【事業主体】 株式会社魚津清掃公社</p> <p>【所在地】 富山県魚津市</p> <p>【運転開始年】 平成 19 年 (2007 年)</p>
原材料および利用量	廃食用油 約 70 k l / 年	
生産物 (種類)	B D F 約 60 k l / 年	
利用方法	魚津市内ゴミ収集車、フォークリフト等への自社利用。	
導入目的・経緯	新川地区から出される使用済み天ぷら油を回収・リサイクルすることにより、「廃棄物を地産地消」する	
設備仕様	廃食用油燃料化装置 (EOSYS200 ; 200L / 8h)	
稼働状況		
経済性関連データ	補助なし	
導入効果	これまで焼却処分してきた天ぷら油を有効活用 B D F 利用により、排ガス中の黒煙は 1 / 3 ~ 1 / 10 に、酸性雨の原因である硫酸化合物は 1 / 100 以下に減少	
運営上の課題	冬期 (5 以下) は B D F 燃料タンクを暖めるヒーターが必須。軽油に比べて頻りに燃料フィルターの交換が必要。複生成物の粗製グリセリンの有効活用を検討する必要 廃食用油効率的回収のため、さらなる地域との連携の強化	
備考・参考資料	・北陸農政局 HP (H18 年度北陸管内におけるバイオマス利活用の取組事例)	